

◆ **議員報酬・市長給与を上げた鎌倉市議会**

鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

第1条 鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例（昭和32年4月条例第4号）の一部を次のように改正する。

第7条第2項中「 $\frac{230}{100}$ 」を「 $\frac{235}{100}$ 」に改める。

第2条 鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を次のように改正する。

第7条第2項中「 $\frac{235}{100}$ 」を「 $\frac{232.5}{100}$ 」に改める。

議員報酬 R8 3月追給分

No.	17
議員名	長嶋 竜弘

第1口座振込額	
ミツバシフジ	カマクラ
¥24,046	
第2口座振込額	
指定なし	

報酬額	¥28,740
所得税	¥4,694
控除額計	¥4,694
差引支給額	¥24,046

一般の会社のボーナス(期末手当)の値上げです

我々会派「公正と法」だけが反対(中澤克之,津野てるひさ,重黒木優平,長嶋竜弘)

他の議員は無所属も含めて全員賛成。

(中沢議長は裁決には加わりませんが、我々会派でするので委員会では反対)

③ 実際に上がって支給された金額

我々議員はいわゆる個人事業主と同じで「社会保険料」は全て自分で払います。議会の通勤手当、住宅手当などは一切支給はされません。福利厚生も殆どありません。政務活動費が年間最大 60 万円までです。

※私の源泉徴収票

令和7年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	鎌倉市極楽寺2	(受給者番号)	
	(役職名)			
	氏名	(フリガナ) ナガシマ タツヒロ		
	氏名	長嶋 竜弘		
種別	支払金額	給与所得控除後の金額(調整控除後)	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
給料・賞与	8,449,560	6,504,604	1,750,210	534,200
(源泉)控除対象配偶者の有無等	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族等の数(配偶者を除く。)	16歳未満扶養親族の数	障害者の数(本人を除く。)
有		老人 他人 従人	他人 従人	特別 他人 従人
有		他人 従人	他人 従人	他人 従人
特定親族特別控除の額	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
	1,014,550	105,660		



◆ **鎌倉市議会議員長嶋竜弘**

第202号5期目16号 メール:kamakurasi@gmail.com
中東情勢が混沌としている中で市長は箱物優先の市政運営にまい進している。来年度予算で深沢新庁舎の基本設計を行い、費用がいくらかかるのか？算出して9月までに公表するとの事。

◆ **中東危機による物価高騰**

中東危機が石油とガスの価格を高騰させており、燃料費や公共料金に直接的な影響を及ぼしてきている。また今後、生産現場や物流など連鎖的な影響は確実に出てくるものと思われます。

エネルギーコスト上昇はインフレ率を押し上げ、更に金利が引き上げられると住宅ローンなども上昇し、物価高騰の状況の折に更に家計の負担が増え そうな状況である。

1970年代のオイルショックでは世界的に物価が高騰して景気後退を招いた。日本はこの時にスタグフレーションを経験している。近年ではウクライナ情勢による資源価格上昇や円安などがあり、スタグフレーションの方向に向かっている状況ですが、更に加速する事が懸念されます。

スタグフレーションとは→景気が停滞しているのに物価が上昇する状態

現状でも物価高騰・人手不足で下記大型事業はやりたくても出来ない状況に陥っているが、益々厳しくなってくるのは确实。松尾市長はあれもこれとも言っているができるのか？→事業の選択と集中が必要だと考えます。

① **市役所2拠点化事業 ←合計645億円**

- ・新庁舎建設→196億円
- ・現庁舎建て替え→149億円
- ・深沢地域整備事業→300億円

② **各大型事業予算 ←合計273億円**

- ・村岡新駅43億円、名越ごみ中継施設54億円
- ・市営住宅122億円、鎌倉漁港54億円

③ **下水道老朽化対応 ←合計761億円**

- ・山崎下水道終末処理場⇒耐震基準を満たしていない
- ・七里ガ浜下水道終末処理場⇒耐震基準を満たしていない
- ・汚水中継ポンプ場5箇所が津波浸水により機能停止の恐れ
- ・一般競争入札 2024年は44件あったが20件が入札不調

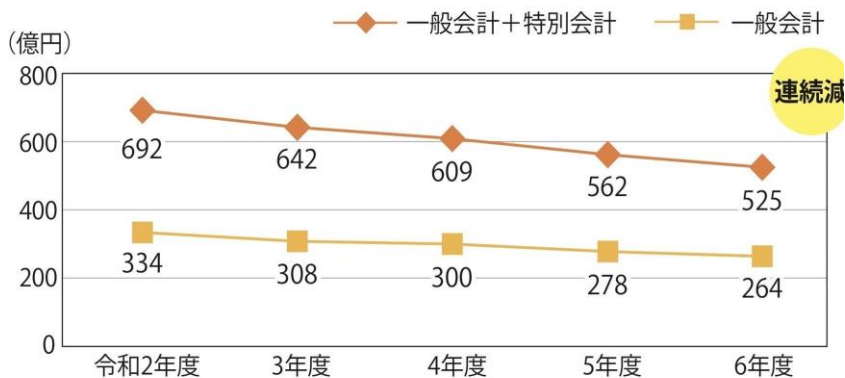
③ **汚水管渠 490km**

- 耐用年数 50年越え 127km(25.9%)
- ・開削工法→22万円/1m →127Kmで279億円
- ・管更生工法→18万円/1m→127Kmで228億円
- ④道路・橋梁整備
- ⑤学校空調設備設置
- ⑥学校校舎建て替え

③④⑤が最優先では

◆市債(借入金)残高について…鎌倉市 HP より引用

一度に多額の支出を必要とする公共事業の財源を確保するため、市債(借入金)を活用しています。世代間の公平性や返済額・借入額のバランスなどに留意しながら借入れを行った結果、一般・特別会計の市債残高は、令和5年度から37億円減少しました。



令和7年(2025年)9月30日における借入残額

(単位:円)

一般会計	22,907,127,555
公共用地先行取得事業特別会計	399,948,000
下水道事業会計	22,735,596,362
合計	46,042,671,917

借入先別市債現在高

(単位:円)

借入先	現在高	構成比
財政融資資金	25,966,327,257	56.4%
旧郵政公社	14,103,545	0.0%
地方公共団体金融機構	7,131,998,084	15.5%
神奈川県	1,474,852,613	3.2%
全国市有物件災害共済会	77,668,322	0.2%
市町村振興協会	2,023,152,634	4.4%
市中銀行	8,253,995,928	17.9%
保険会社	748,604,086	1.6%
市町村職員共済組合	351,969,448	0.8%
合計	46,042,671,917	100.0%

令和6年度鎌倉市一般会計決算額
↓↓↓
◎歳入決算額
→777億
◎歳出決算額
→738億

◆鎌倉市の基金の状況…鎌倉市 HP より引用

特定の目的のために財産を維持・運用、条例に基づいて設置します。将来のリスクに備える為の貯蓄でもあります。家計における貯金のような役割。

(1) 定額資金運用基金

(単位:円)
令和7年(2025年)9月30日現在

区分	令和7年3月末現在額	4月~9月増減額	R7年9月末現在額
不動産(土地)	5,563,911	△4,006,432	1,557,479
	(192.88㎡)	(△131.78㎡)	(61.10㎡)
現金	94,604,696	3,910,432	98,515,128
合計	100,168,607	△96,000	100,072,607

(2) 維持又は積立基金

(単位:円)
令和7年(2025年)9月30日現在

区分	R7年3月末現在額	4月~9月増減額	R7年9月末現在額
財政調整基金	7,278,410,106	4,286,132	7,282,696,238
就学援助基金	90,048,049	0	90,048,049
こどもの夢応援基金	239,880,781	172,326	240,053,107
教育文化施設建設等基金	1,667,281,559	184,389	1,667,465,948
鎌倉スクールコラボファンド活用基金	33,443,868	22,780	33,466,648
公共公益施設整備基金	263,221,184	210,135	263,431,319
風致保存基金	0	0	
社会福祉基金	0	0	
緑地保全基金	162,032,658	44,961	162,077,619
一般廃棄物処理施設建設基金	1,697,291,793	119,309	1,697,411,102
介護給付等準備基金	1,730,000,000	1,339,820	1,731,339,820
国民健康保険運営基金	665,982,371	△119,478,587	546,503,784
スポーツ施設建設基金	174,532,220	11,963	174,544,183
図書館振興基金	23,373,118	8,964	23,382,082
景観重要建造物等保全基金	144,504,513	33,248	144,537,761
本庁舎整備基金	3,206,641,907	100,224,156	3,306,866,063
森林環境譲与税基金	2,574,915	1,978	2,576,893
市民活動推進基金	21,659,185	15,200	21,674,385
合計	17,400,878,227	△12,803,226	17,388,075,001